

## 製品安全データシート

## 【1. 製品及び会社情報】

製品の名称 :COMET-No.DE1000、COMET-No.DE800  
会社名 :株式会社コメットカトウ  
住所 :愛知県稲沢市祖父江町甲新田イ九一65  
担当部門 :品質保証部  
電話番号 :0587(97)8441  
FAX番号 :0587(97)8448  
作成日 :2011年11月04日  
改訂日 :2022年10月25日

## 【2. 危険有害性の要約】

重要危険有害性  
有害性 : 通常の状態では、危険な反応や火災・爆発を起こすことはない。  
物理的・化学的危険性 : 知見なし。  
GHS分類 : 本製品は仕様原材料中に遊離ケイ酸(石英)を“”1.5~3%“”を含有しており、以下の分類、情報はそのものによるである。  
健康に対する有害性 : 発がん性 区分2(発がんのおそれの疑い)  
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 区分3(気道刺激性)  
特定臓器・全身毒性(反復暴露) 区分1(肺:吸入)  
上記に記載のないものは区分外又は対象外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害情報

: 長期に渡り紙粉を吸い込むと発がんのおそれ  
大量に紙粉を吸い込むと呼吸器への刺激のおそれ

成分情報

: 天然材料を使用しており不純物として結晶質シリカ 1.5~3%含有する。

## 【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
主な用途 : 食用油濾過用  
一般名 : 活性白土混抄紙

化学物質名	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS No.
セルロース	37	—	9004-34-6
ポリビニルアルコール	3	6-682	9002-89-5
活性白土	60	—	70131-50-9

注:組成・成分情報欄の含有量%は、設計標準値又は代表値を示す。

## 【4. 応急措置】

紙粉等が発生する場合に適用し、下記の応急処置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所で安静にする。  
皮膚に付着した場合 : 水及び石鹸で付着部分を洗い流す。  
目に入った場合 : 目と接触した場合には、直ちに多量の水で洗い医師の診断を受けること。  
: 眼球を傷つけることがあるので、こすらない。  
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。

## 【5.火災時の措置】

消火剤	: 水、粉末、泡、二酸化炭素等
特有の危険有害性	: 燃焼及び高温により有害ガス(NO <sub>x</sub> 、CO、CO <sub>2</sub> )を発生することがあります。
特有の消火方法	
1.周辺火災の場合	: 速やかに移動可能な製品を安全な場所に移動する。 : 移動不可能な場合、製品及び周辺に散水し冷却する。
2.着火した場合	: 火元への燃焼源を断ち、風上から消火する。 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	: 火災により一酸化炭素等の有毒ガスや煙霧が発生する場合がありますので、消火作業の際は適切な呼吸保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

## 【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項	: 知見なし。
保護具及び緊急時処置	: 作業者は必要な場合、保護具(暴露防止及び保護処置の項参照)を着用する。
環境に対する注意事項	: 屋外に散乱した場合は、風などで飛び二次災害の発生となる恐れがあるため、速やかに集めて処分する。
回収・中和	: 飛散した場合は一般の掃除用具で回収し、廃棄処分する。(廃棄上の注意の項参照)
二次災害の防止策	: 付近の着火源となる物を速やかに取り除く。 : 万一河川、公共水路等に多量に入った場合、直ちに地方自治体の公害担当者に連絡する。

## 【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	: 水漏れ、周辺からの汚染に注意してください。
局所排気・全体換気	: 局所排気装置を設け換気を良くすること。 : 屋外では風上から作業し、屋内では局所排気装置の設置された場所で作業する。
注意事項	: 容器、梱包、袋等は中止して取り扱う。
安全取扱注意事項	: 火気厳禁。着火源に近づけない。 : 手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後に十分ながいいや手洗いを行うこと。

## 保管

技術的対策	
保管条件	: 換気の良い一定の場所を定めて保管する。 : 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所・水漏れの発生する場所、熱源、着火源から離して保管する。
安全な容器包装材料	: 知見なし。

## 【8.暴露防止及び保護措置】

許容濃度	: 日本産業衛生学会(2007年版) 吸入性粉塵 1mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵 4mg/m <sup>3</sup> (鉱物性粉塵第二種)
設備対策	: 取扱いについては、局所排気装置等を設置した場所で行う。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスクなどを必要に応じて着用する。
手の保護具	: 保護手袋などを必要に応じて着用する。
目の保護具	: 保護眼鏡などを必要に応じて着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣などを必要に応じて着用する。
衛生対策	: 取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。

## 【9.物理的及び科学的性質】

## 物理的状态

形状	シート状個体
色	白色
臭い	無臭
発火点	知見なし。

## 【10.安定性及び反応性】

安定性	: 通常の取扱いにおいて安定している。
危険有害反応可能性	: 知見なし。
避けるべき条件	: 知見なし。

## 【11.有害性情報】

急性毒性	: 知見なし。
皮膚腐食性・刺激性	: 知見なし。
目に対する重篤な損傷。刺激性	: 知見なし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 知見なし。
生殖細胞変異原性	: 知見なし。
発がん性	: 結晶質シリカ
生殖毒性	: 知見なし。
特定標的臓器・全身毒性—単回暴露	: 結晶質シリカ
特定標的臓器・全身毒性—反復暴露	: 結晶質シリカ

## 【12.環境影響情報】

生態毒性	: 知見なし。
残留性・分解性	: 知見なし。
生体蓄積性	: 知見なし。
土壤中の移動性	: 知見なし。

## 【13.廃棄上の注意】

## 残余廃棄物

- ・産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、内容を明確にして処理を委託する。
  - ・廃棄物は焼却処理する。
  - ・該当法規に従って廃棄物処理を行う。(国、及び都道府県並びに地方の法規条例に従う。)
- (大気汚染防止法、廃棄物の処理及び製造に関する法律、ダイオキシン類対策特別処置法及び都道府県市町村条例等に基づき処理する)
- ・燃焼時多量のススや一酸化炭素の有毒ガスが発生することがあるので注意する。
  - ・各種リサイクル法に従い、廃棄処分を行う。

## 汚染容器及び包装

- ・から容器や包装材を廃棄する時には、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 【14.輸送上の注意】

## 国際規制

国連番号	: 該当しない。
品名	: 該当しない。
国連分類	: 該当しない。
容器等級	: 該当しない。
海洋汚染物質	: 該当しない。

## 【15.適用法令】

主要な法令は以下の通りである。

化審法	: 特定化学物質、指定化学物質	: 該当しない。
消防法	: 危険物、指定可燃物に従う。	: 該当しない。
労働安全衛生法	: 特化則	: 該当しない。
	: 危険物	: 該当しない。
	: 有機則	: 該当しない。
	: 粉塵則	: 該当しない。
	: 表示物質	: 該当しない。
	: 通知物質	: シリカ(別表第9 312号)。
毒物及び劇物取締法	: 毒物、劇物	: 該当しない。
危険物船舶運送及び貯蔵規制	: 危険物	: 該当しない。
海洋汚染防止法・海洋汚染物質	:	: 該当しない。
化学物質排出把握管理促進法	: 第一種指定化学物質	: 該当しない。
	: 第二種指定化学物質	: 該当しない。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 使用後の製品は産業廃棄物として処理する。	

## 【16.その他の情報】

この化学物質等安全データシート(SDS)はJIS Z 7250:2005 に準拠する。

引用文献

1) 製品の原料となるSDS

(注)「知見なし」とは、一般的に有害性はないと考えられているが、現時点では、データ等を持ち合わせていないことを意味している。

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取扱いを対象として物であって特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。

記載内容は情報提供であって保証するものではありません。